

平成14年10月17日

第 1 3 7 期 中 間 決 算 説 明 資 料

自 平成14年 3月 1日

至 平成14年 8月31日

株式会社 高 島 屋

目 次

	頁
．高島屋連結決算関係	
1．連結決算概要及び事業計画（中間期・当期）	1
2．連結子会社の状況（中間期・当期）	1
3．連結設備投資の実績及び計画（中間期・当期）	3
4．連結投融資の実績及び計画（中間期・当期）	3
5．連結減価償却費の実績及び予想（中間期・当期）	3
6．連結会社の従業員数（中間期・当期）	3
7．連結貸借対照表科目の主な増減理由	4
．高島屋単体決算関係	
8．決算概要及び事業計画（中間期・当期）	5
9．設備投資の実績及び計画（中間期・当期）	5
10．投融資の実績及び計画（中間期・当期）	6
11．減価償却費の実績及び予想（中間期・当期）	6
12．新規出店計画等	6
13．販売費及び一般管理費の実績及び予想（中間期・当期）	7
14．従業員数の実績及び予想（中間期・当期）	7
15．営業外損益の実績及び予想（中間期・当期）	7
16．特別損益の内訳、発生理由等	8
17．店別売上高等の実績及び予想（中間期・当期）	9
(1) 店別売上高	9
(2) 事業形態別売上高	9
(3) 現売・掛売比率	10
(4) 商品別売上高及び利益率	10
(5) 商品別ロス率（品耗率）	10
(6) 単位当たり売上高	11
18．月別の売上高の推移（前年同月増減率）	11
19．店別入店客数の前年増減率	11
20．保証債務等	12
21．貸借対照表科目の主な増減理由	13

・高島屋連結決算関係

1. 連結決算概要及び事業計画（中間期・当期）について

（単位・百万円、％）

期 別 摘 要	中間期実績（14.8）		当 期 予 想（15.2）			
	金 額	前年同期 増減率	中 間 時 予 想 （14.10.17）		期 初 予 想 （14.4.18）	
			金 額	前年増減率	金 額	前年増減率
1. 連結営業収益 [売上高]	580,289 [561,638]	1.8 [2.0]	1,187,000 [1,148,000]	1.6 [1.8]	1,210,000 [1,173,000]	0.3 [0.4]
2. 連結営業利益	5,255	45.1	16,300	13.9	20,000	5.7
3. 連結経常利益	4,907	53.8	15,300	26.9	21,200	1.2
4. 連結当期純利益	219		4,300		8,800	
5. 連結総資産額	870,583	2.7	850,000	5.0	873,000	2.4
6. 連結株主資本額	179,209	1.4	182,000	0.2	188,023	3.5
7. 連結有利子負債総額 （マニアル・ペーパーを含む）	223,203	17.5	222,000	18.0	238,700	11.8
8. 連結金融収支	996		2,400		2,700	
9. 連結子会社数	31		30		31	
10. 持分法適用会社数	11		11		11	
11. 連単倍率			1.19		1.83	

（注）上記5から7の増減率は前期末比の増減率を記載しております。

2. 連結子会社の状況（中間期・当期）について

（単位・百万円、％）

上段は中間期実績（14.8）下段は当期予想（15.2）

会 社 名	資本金	セグメント 区 分	事業の内容	所有割合 （直接+間接）	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益
					営業収益	営業利益	経常利益	当期利益
株高島屋友の会	百万円 50	百貨店業	前払式特定取引 による取次業	100.0	2,501	458	54	35
					5,314	982	63	34
株ファッションプラザ21	百万円 495	"	衣料品等 小売業	100.0	2,939	28	31	11
					5,873	50	40	2
株カドゼ・ ピーアンドシー	百万円 10	"	衣料品等 小売業	100.0	454	21	20	31
					886	28	25	11
株高島屋ストア	百万円 200	"	スーパーマーケット業	100.0	5,820	15	22	3
					11,800	28	35	15
株アール・ティ・ コーポレーション	百万円 370	"	飲 食 業	100.0	4,412	12	7	9
					8,742	37	25	4
タシヤ・シガポール LTD.	千\$ 100,000	"	百貨店業	100.0	11,701	166	206	203
					23,854	376	368	1,008
タシヤ・インター プライズ・INC	千\$ 1,100	"	飲 食 業	100.0	169	15	15	13
					324	9	7	4
タシヤ・ニューヨーク INC.	千\$ 6,000	"	小売業・ 卸売業	100.0	850	53	90	90
					2,151	50	24	24
高島屋 スペースエイ株	百万円 1,321	建装事業	建 装 事 業	100.0	20,127	83	107	47
					36,400	350	290	396
ユタカ 建設工業株	百万円 75	"	建 装 事 業	52.8	1,562	100	98	245
					3,112	93	90	282

上段は中間期実績(14.8)下段は当期予想(15.2)

会社名	資本金	セグメント 区分	事業の内容	所有割合 (直接+間接)	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益
					営業収益	営業利益	経常利益	当期利益
カシヤ・カワホコ INC.	千\$ 10	建装事業	建 装 事 業	100.0	39	26	26	26
					120	25	25	25
高栄不動産(株)	百万円 1,800	不動産業	不動産賃貸・ 販売業	100.0	1,787	811	740	375
					3,559	1,344	1,188	457
東神開発(株)	百万円 2,140	"	不動産賃貸業	100.0	9,153	1,628	1,536	880
					18,264	3,070	2,848	1,230
高栄開発(株)	百万円 4,000	"	不動産賃貸業	100.0	7,928	1,082	433	435
					15,662	1,879	574	249
カシヤ・フィス アニュー CORP.	千\$ 3,100	"	不動産管理業	100.0	274	40	9	10
					551	71	51	52
カドドライブ・ プロパティーズ INC.	千\$ 10,000	"	不動産管理業	100.0	54	22	22	11
					110	52	52	33
高島屋 クレジット(株)	百万円 100	金融・ リース業	クレジット カード発行業	100.0	5,484	85	93	43
					11,176	387	399	271
高栄商事(株)	百万円 10	"	リ ー ス 業	100.0	2,822	789	730	139
					5,384	1,096	914	209
カシヤ・ インターナショナル・ファイナ	千円 136	"	金 融 業	100.0	187	15	83	87
					393	38	105	125
高島屋 日発工業(株)	百万円 1,801	自動車内装品 製造業	自動車内装品 製造業	54.2	45,359	725	898	537
					91,443	1,285	1,609	890
高島屋商事(株)	百万円 200	その他 事業	衣料品等 卸売業	100.0	10,689	175	165	160
					23,755	6	11	18
(株)グルメール	百万円 50	"	輸入食品 卸売業	100.0	1,305	38	18	9
					2,829	100	47	20
(株)日本クラフト	百万円 150	"	工芸品等 卸売業	100.0	1,227	15	21	41
					2,515	5	7	28
(株)ロ - ザ	百万円 15	"	衣料品等 卸売業	100.0	420	6	1	1
					887	14	3	0
(株)タ ッ プ	百万円 92	"	縫製・加工業	100.0	4,050	108	110	58
					7,997	167	170	84
(株)イー・ティ・イー	百万円 80	"	広告宣伝業	100.0	8,890	224	229	120
					17,625	316	324	147
(株)イー・エル・ コーポレーション	百万円 45	"	運 送 業	100.0	10,946	90	95	46
					22,551	49	58	33
(株)リクルーメント カパニー	百万円 150	"	人材派遣業	100.0	3,330	118	118	59
					6,816	196	197	93
(株)リシガル 高島屋	百万円 474	"	ホ テ ル 業	100.0	554	143	139	140
					1,323	139	135	136
高島屋 ビルメンテナンス(株)	百万円 30	"	建物維持・ 管理請負業	100.0	6,066	157	160	91
					11,900	176	180	86
高島屋 ビジネスサービス(株)	百万円 50	"	事務代行業	100.0	2,847	72	73	42
					6,364	2	0	0

3. 連結設備投資の実績及び計画（中間期・当期）について

- ・当中間期の設備投資額は138億円、当期の設備投資は250億円を計画しており、自己資金及び銀行借入で賄う予定であり、内訳は以下のとおりであります。

（単位・百万円）

内 訳	中間期実績 (14.8)	当 期 の 計 画 (15.2)		備 考
		中間時計画 (14.10.17)	期 初 計 画 (14.4.18)	
1. (株) 高 島 屋	6,794	10,000	12,000	
2. 東 神 開 発 (株)	1,081	5,800	5,900	
3. 高 栄 商 事 (株)	3,292	4,600	6,600	
4. そ の 他	3,095	5,100	5,300	
5. 連 結 消 去	390	500		
計	13,872	25,000	29,800	

4. 連結投融資の実績及び計画（中間期・当期）について

- ・当中間期の投融資額は13億円、当期の投融資計画は15億円であり、内訳は以下のとおりであります。

（単位・百万円）

内 訳	中間期実績 (14.8)	当 期 の 計 画 (15.2)		備 考
		中間時計画 (14.10.17)	期 初 計 画 (14.4.18)	
1. 関係会社貸付金	5,882	6,400	5,950	
2. 関係会社株式購入	1,147	1,200	2,200	
3. 投資有価証券購入	25	200	500	
4. そ の 他	71			
5. 連 結 消 去	5,796	6,300	5,950	
計	1,328	1,500	2,700	

5. 連結減価償却費の実績及び予想（中間期・当期）について

（単位・百万円）

内 訳	中間期実績(14.8)		当 期 予 想 (15.2)		
	金 額	前年増減率	中 間 時 予 想 (14.10.17)	前年増減率	期 初 予 想 (14.4.18)
製造原価に算入した減価償却費	1,321	6.8	2,600	6.6	2,900
販管費に計上した減価償却費	8,012	6.8	16,500	8.6	17,300
計	9,333	6.8	19,100	8.3	20,200

6. 連結会社の従業員数（中間期・当期）について

（単位・人）

摘 要	中間期実績(14.8)	当期予想(15.2)
高 島 屋	9,032	8,810
連 結 子 会 社	5,994	5,973
計	15,026	14,783

7.連結貸借対照表科目の主な増減理由について

・前期末残高と比較して、大きく増減している科目及び増減理由は以下のとおりであります。

(単位・百万円)

科 目	中 間 期 (14.8)	前 期 (14.2)	増 減
1.受取手形及び売掛金	85,313	107,015	21,701
2.有価証券	3,783	10,767	6,984
3.前受金	57,024	53,539	3,484

・増減理由について

- 1.受取手形及び売掛金 ----- 債権の流動化による減
- 2.有価証券 ----- 外資や インターナショナル ファイナンス = 保有有価証券の償還による減
- 3.前受金 ----- 高島屋友の会 = 会員増等による定期会費等の前受金増

有利子負債の内訳

科 目	中 間 期 (14.8)	前 期 (14.2)	増 減
1.短期借入金	39,055	81,001	41,946
2.一年内償還社債	9,459	14,515	5,056
3.コマーシャルペーパー	1,500	300	1,200
4.社債	31,300	31,300	
5.長期借入金	141,888	143,463	1,575
有利子負債計	223,203	270,580	47,378

8. 決算概要及び事業計画（中間期・当期）について

（単位・百万円、％）

期 別 摘 要	中間期実績(14.8)		当 期 予 想 (15.2)			
	金 額	前年同期 増減率	中 間 時 予 想 (14.10.17)		期 初 予 想 (14.4.18)	
			金 額	前年増減率	金 額	前年増減率
1. 営業収益 [売上高]	472,141 [466,606]	3.8 [4.1]	969,500 [958,500]	2.5 [2.7]	997,500 [988,000]	0.3 [0.3]
2. 営業利益	797	72.5	8,600	3.0	11,700	40.2
3. 経常利益	1,941	46.9	9,600	1.8	12,000	27.2
4. 当期純利益	329		3,600		4,800	
5. 売上総利益率(%) (商品利益率)	27.59	0.57	27.55	0.26	27.71	0.43
6. 総資産額	652,286	0.0	660,000	1.2	643,000	1.4
7. 株主資本額	169,094	1.3	169,100	1.3	173,782	1.5
8. 株主資本比率(%)	25.9	0.4	25.6	0.6	27.0	0.8
9. 有利子負債総額	174,211	6.0	196,200	5.9	170,000	8.2
10. 借入金依存率(%)	26.7	1.7	29.7	1.3	26.4	2.0
11. 金融収支	984		864		100	

（注）1. 上記6から10の増減率は前期末比の増減率を記載しております。

2. 建装事業本部は平成13年9月1日に(株)高島屋工作所に営業譲渡し、統合して高島屋スペースクリエイツ(株)となりました。建装事業本部を考慮した売上高の前年同期増減率は、当中間期実績が1.1%、当期予想が1.2%であります。

3. 有利子負債の内302億円は、高栄開発(株)との合併による増であり、それを考慮すると、前期末比193億円の減(10.4%)となり、借入金依存率は26.3%(2.1%)となります。

9. 設備投資の実績及び計画（中間期・当期）について

・当中間期の設備投資額は68億円、当期の設備投資額は100億円を計画しており、全額自己資金で賄う予定であります。内訳は以下のとおりであります。

（単位・百万円）

内 訳	中間期実績 (14.8)	当 期 の 計 画 (15.2)		備 考
		中間時計画 (14.10.17)	期 初 計 画 (14.4.18)	
1. 大阪店改装工事	1,051	1,118	1,700	
2. 京都店改装工事	466	529	560	
3. 堺店改装工事	538	538	580	
4. 東京店改装工事	444	1,075	1,220	
5. 横浜店改装工事	1,789	2,022	1,710	
6. 新宿店改装工事	247	409	240	
7. 立川店改装工事	541	553	680	
8. 大宮店改装工事	599	632	990	
9. 柏店改装工事	315	316	190	
10. その他改装工事	799	2,808	4,130	
計	6,793	10,000	12,000	

10. 投融資の実績及び計画（中間期・当期）について

- ・当中間期の投融資額は 23 億円、当期の投融資計画は 25 億円であり、内訳は以下のとおりであります。
(単位・百万円)

内 訳	中間期実績 (14.8)	当 期 の 計 画 (15.2)		備 考
		中間時計画 (14.10.17)	期 初 計 画 (14.4.18)	
1. 関係会社貸付金	1,735	1,950	5,350	
2. 関係会社株式購入	500	500	1,900	
3. 投資有価証券購入	0	0		
4. そ の 他	35	50		
計	2,271	2,500	7,250	

(注) 関係会社貸付金はグループファイナンスの強化 (CMS) による資金集中化に伴うものであります。

11. 減価償却費の実績及び予想（中間期・当期）について

(単位・百万円、%)

科 目	中 間 期 実 績 (14.8)		当 期 予 想 (15.2)		
	金 額	前年増減率	中 間 時 予 想 (14.10.17)	前年増減率	期 初 予 想 (14.4.18)
有形・無形 固定資産	4,345	11.8	8,700	10.0	9,100
計	4,345	11.8	8,700	10.0	9,100

12. 新規出店計画等について

(1) 小田急電鉄相模大野駅（神奈川県相模原市）市街地再開発事業への出店について

- ・平成12年11月に相模原市を立会人として再開発準備組合と出店の覚書を締結しました。しかし、平成13年秋以降の消費環境が一段と悪化し出店環境が著しく困難となったことから、平成14年10月10日、当社は再開発準備組合に対し、出店辞退ならびに覚書解約に向けた協議を申し入れました。
- ・今後、再開発準備組合との間で覚書解約に向けた協議を進めてまいります。

(2) 統一国際開発（統一企業グループ）との合併事業について

- ・平成13年2月21日、台湾での百貨店事業を経営するための合併会社設立に向けての合併契約書に調印しました。
- ・平成13年10月「統一高島屋百華股分有限公司」を設立しました。

合併相手の変更 = 統一国際開発から統一超商に変更

〔契約内容〕 統一グループが建設する台北市信義地区の建物に1号店を出店予定

資本金 = 10億元 (約35億円) 出資比率 = 50%

開業時期 = 平成16年開業を予定 予定展開面積 = 25,000m²

13. 販売費及び一般管理費の実績及び予想(中間期・当期)について

(単位・百万円、%)

期 別 費 目	中間期実績(14.8)		当 期 予 想 (15.2)			備 考
	金 額	前年増減率	中 間 時 予 想 (14.10.17)		期 初 予 想 (14.4.18)	
			金 額	前年増減率	金 額	
1.人 件 費	47,084	4.7	96,384	4.2	97,793	
2.総 務 費	1,877	10.6	3,277	13.6	3,416	
3.宣 伝 費	20,167	4.2	39,668	2.8	40,562	
4.庶 務 費	40,836	6.6	80,668	4.4	82,846	
5.経 理 費	23,489	1.6	46,503	2.0	46,983	
計	133,455	0.3	266,500	1.3	271,600	

14. 従業員数の実績及び予想(中間期・当期)について

性 別	中 間 期 実 績 (14.8)			当 期 予 想(15.2)
	期 末 員 数	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数	期 末 員 数
男 性	5,069 人	46.2 才	25.1 年	4,940 人
女 性	3,963	35.8	15.3	3,870
計又は平均	9,032 人	41.6 才	20.8 年	8,810 人

(注)上記のほかに、出向者 1,559 人、当中間期平均の臨時従業員及びパートタイマー 6,161 人、アルバイト 1,380 人がおります。

15. 営業外損益の実績及び予想(中間期・当期)について

(単位・百万円、%)

期 別 費 目	中間期実績(14.8)		当 期 予 想 (15.2)			備 考
	金 額	前年増減率	中 間 時 予 想 (14.10.17)		期 初 予 想 (14.4.18)	
			金 額	前年増減率	金 額	
営 業 外 収 益	5,643	16.9	9,150	2.8	8,100	
受取利息・配当金	3,093	35.6	5,143	15.1	4,300	
雑 収 入	2,550	0.2	4,007	19.0	3,800	
営 業 外 費 用	4,499	10.5	8,150	2.2	7,800	
支 払 利 息	2,108	10.7	4,279	5.9	4,400	
雑 損 失	2,390	39.8	3,871	2.3	3,400	

(注) 中間期実績について

1. 雑収入の主な内訳	-----	・ 債務勘定整理益(商品券等)	1,588
		・ 固定資産等受贈益	803
2. 雑損失の主な内訳	-----	・ 債務勘定整理益繰戻損(商品券等)	1,243
		・ 貸倒引当金繰入額	400
		・ 為替差損	300

16. 特別損益の内訳、発生理由等について

(単位・百万円)

内 訳	中間期実績	発 生 理 由 等
特 別 利 益		
1. 固 定 資 産 売 却 益	32	逗子マリーナ建物他
2. 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	83	関係会社財務体質改善による戻入
特 別 損 失		
1. 固 定 資 産 売 却 損	5	社宅2物件
2. 固定資産除却損及び原状回復費用	1,868	除却損 1,269、原状回復費用 599
3. 子 会 社 株 式 評 価 損	141	高島屋商事株式
4. 投資有価証券売却損及び評価損	391	売却損 58、評価損 333
5. 会 員 権 売 却 損 及 び 評 価 損	22	評価損 22
6. 早期退職制度に伴う割増金	306	26名

17. 店別売上高等の実績及び予想（中間期・当期）について

(1) 店別売上高

(単位・百万円、%)

期別 店別		中間期実績(14.8)			当期予想(15.2)			
		金額	前年増減率	売場面積	中間時予想 (14.10.17)			期初予想 (14.4.18)
					金額	前年増減率	構成比	金額
関西事業部	大阪店	76,956	7.4	69,984	155,530	5.0	16.2	161,620
	京都店	54,129	1.0	68,231	111,550	1.0	11.6	113,970
	堺店	11,510	13.0	24,461	23,180	10.3	2.4	23,990
	泉北店	12,756	0.9	21,368	25,790	0.0	2.7	26,270
	岡山店	13,317	0.9	19,493	27,440	1.4	2.9	28,190
	岐阜店	9,656	3.3	21,859	19,570	3.4	2.0	20,040
	米子店	5,215	1.2	17,236	10,750	0.0	1.1	10,870
関東事業部	東京店	80,661	14.8	49,457	166,370	9.9	17.4	176,310
	横浜店	85,477	2.8	71,146	176,640	1.6	18.4	183,110
	新宿店	39,874	6.1	54,694	83,200	4.2	8.7	81,980
	玉川店	21,497	1.4	21,621	43,980	1.6	4.6	44,730
	立川店	15,336	2.6	28,221	32,100	1.6	3.4	32,570
	大宮店	10,432	0.3	17,822	21,260	0.4	2.2	21,570
	柏店	21,318	4.4	25,881	43,570	3.0	4.6	44,810
	高崎店	8,467	1.8	19,095	17,570	1.6	1.8	17,970
計		466,606	4.1	530,569	958,500	2.7	100.0	988,000

- (注) 1. 大阪店には和歌山店を、京都店には洛西店を、横浜店には港南台店を含めております。
 2. 法人事業本部及び通信販売事業本部の売上高は、それぞれ所在する地区の各店に含めております。
 また、前年中間期までは、建装事業本部の売上高が所在する地区の各店に含まれております。
 3. 売場面積は、大規模小売店舗法に基づく店舗面積に兼業面積を加算したものであります。

(2) 事業形態別売上高

(単位・百万円、%)

期別 事業形態		中間期実績(14.8)			当期予想(15.2)			
		金額	前年増減率	構成比	中間時予想 (14.10.17)			期初予想 (14.4.18)
					金額	前年増減率	構成比	金額
百貨店事業本部		433,761	0.1	93.0	891,360	0.3	93.0	914,300
法人事業本部		18,169	14.0	3.9	36,870	7.4	3.8	38,400
通信販売事業本部		14,675	11.5	3.1	30,270	16.8	3.2	35,300
計		466,606	4.1	100.0	958,500	2.7	100.0	988,000

(3) 現売・掛売比率

(単位・百万円、%)

区 分	中間期実績 (14.8)		
	金額	前年増減率	構成比
現 売	220,447	3.3	47.2
掛 売	246,159	4.7	52.8
計	466,606	4.1	100.0

(4) 商品別売上高及び利益率

(単位・百万円、%)

区 分	中間期実績 (14.8)			
	金額	前年増減率	構成比	利益率
衣 料 品	173,491	0.8	37.2	33.53
身 回 品	73,950	1.8	15.9	27.43
雑 貨	59,002	3.2	12.6	27.29
家 庭 用 品	41,104	28.4	8.8	29.43
食 料 品	105,488	0.9	22.6	18.80
食堂・喫茶	8,146	4.4	1.7	17.27
サービスその他	5,421	3.1	1.2	15.31
計	466,606	4.1	100.0	27.59

(注) 好調品群及び不調品群について

(単位・%)

好 調 品 群	前年増減率	不 調 品 群	前年増減率
婦 人 雑 貨	3.4	趣 味 雑 貨	14.6
子 供 服	1.9	呉 服	4.3
食 料 品	1.0	美 術	4.2

(5) 商品別ロス率(品耗率)

(単位・百万円、%)

区 分	中間期実績 (14.8)	
	金額(売価)	売上高比率
衣 料 品	337	0.19
身 回 品	150	0.20
雑 貨	53	0.09
家 庭 用 品	159	0.39
食 料 品	157	0.15
食堂・喫茶		
サービスその他	0	0.01
計	858	0.18

(6) 単位当たり売上高

期 別		中間期実績 (14.8)	当期予想 (15.2)
売 上 高		466,606 百万円	958,500 百万円
1㎡ 当たり 売上高	売 場 面 積	529,921 ㎡	530,300 ㎡
	1 平方メートル当たり 売上高	880 千円	1,807 千円
	" 月平均売上高	146 千円	150 千円
1人 当たり 売上高	従 業 員 数	14,485 人	14,420 人
	1人当たり 売上高	32,213 千円	6,647 千円
	" 月平均売上高	5,368 千円	5,539 千円

- (注) 1. 1平方メートル当たり売上高の売場面積は、大規模小売店舗法に基づく店舗面積に兼業面積を加算したもので、期中平均の売場面積で計算しております。
2. 1人当たり売上高の従業員数は、従業員に販売に従事する臨時従業員及びパートタイマーを含めた期中平均の員数で計算しております。

18. 月別の売上高の推移 (前年同月増減率)

(単位・%)

摘 要	14/3	14/4	14/5	14/6	14/7	14/8	14/上計
当 社	0.8	5.3	3.7	2.7	7.5	5.6	4.1
(建装を考慮)	2.7	2.4	1.8	0.4	5.8	2.9	1.1
全国百貨店	0.6	2.5	2.1	1.1	5.5	0.3	2.0

19. 店別入店客数の前年増減率について

(単位・%)

摘 要	大阪店	京都店	堺 店	泉北店	岡山店	岐阜店	米子店
総入店客数	5.9	4.1	3.1	2.3	2.8	1.9	2.5

摘 要	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏 店	高崎店
総入店客数	2.7	0.8	6.9	3.6	0.3	1.7	1.9	1.2

摘 要	総 計
総入店客数	0.1

20. 保証債務等について

(1) 保証債務等の内訳

(単位・百万円)

被保証者名	中間期(14.8)	前期(14.2)	増減	内 容
高 栄 開 発 (株)	27,450	27,500	50	
高 栄 商 事 (株)	11,220	10,455	765	
タカシマヤ・シンガポールLTD.	5		5	
タカシマヤ・フィフスアベニュー CORP	1,000	1,000		
そ の 他 3 件	266	273	7	
従業員住宅ローン	3,755	4,080	325	中間期 591件
計	43,697	43,309	387	

(2) 保証債務等に類するものとして

関係会社の銀行借入に対する経営指導念書の内訳

(単位・百万円)

関係会社名	中間期(14.8)	前期(14.2)	増減	内 容
(株)コールドン・スル・ニューオータニ	610	700	90	
タカシマヤ・インターナショナル・ファイナンス		3,765	3,765	
(株)ファッションプラザ21		723	723	
計	610	5,188	4,578	

関係会社の銀行借入等に対するキープカール契約の内訳

(単位・百万円)

関係会社名	中間期(14.8)	前期(14.2)	増減	内 容
タカシマヤ・インターナショナル・ファイナンス	7,480	12,480	5,000	

(3) 偶発債務等総合計((1)+(2))

(単位・百万円)

摘 要	中間期(14.8)	前期(14.2)	増減	内 容
偶発債務等総計	51,787	60,978	9,191	

21. 貸借対照表科目の主な増減理由について

・前期末残高と比較して、大きく増減している科目及び増減理由は以下のとおりであります。

(単位・百万円)

科 目	中間期(14.8)	前期(14.2)	増 減
1. 売 掛 金	32,749	36,702	3,953
2. 長 期 貸 付 金	132,221	135,515	3,294
3. 買 掛 金	82,673	73,850	8,823
4. 未 払 金	15,701	12,987	2,714
5. 預 り 金	43,631	39,927	3,703
6. 資 本 準 備 金	9,711	27,085	17,373
7. 利 益 準 備 金		5,993	5,993
8. 任 意 積 立 金	84,483	129,483	45,000

・増減理由について

- 1. 売 掛 金-----クレジット債権の流動化による減他
- 2. 長 期 貸 付 金-----回収等による減
- 3. 買 掛 金-----季節要因による増
- 4. 未 払 金-----中間期末銀行休業日による影響他
- 5. 預 り 金-----高島屋友の会預り金の増他
- 6. 資 本 準 備 金-----商法改正に伴う取崩しによる減
- 7. 利 益 準 備 金-----商法改正に伴う取崩しによる減
- 8. 任 意 積 立 金-----前期利益処分の別途積立金の取崩しによる減

有利子負債の内訳

科 目	中間期(14.8)	前期(14.2)	増 減
1. 短 期 借 入 金	39,275	56,359	17,084
2. 一 年 内 償 還 社 債	5,000	5,000	
3. 社 債	30,000	30,000	
4. 長 期 借 入 金	99,936	93,903	6,032
有 利 子 負 債 計	174,211	185,263	11,051